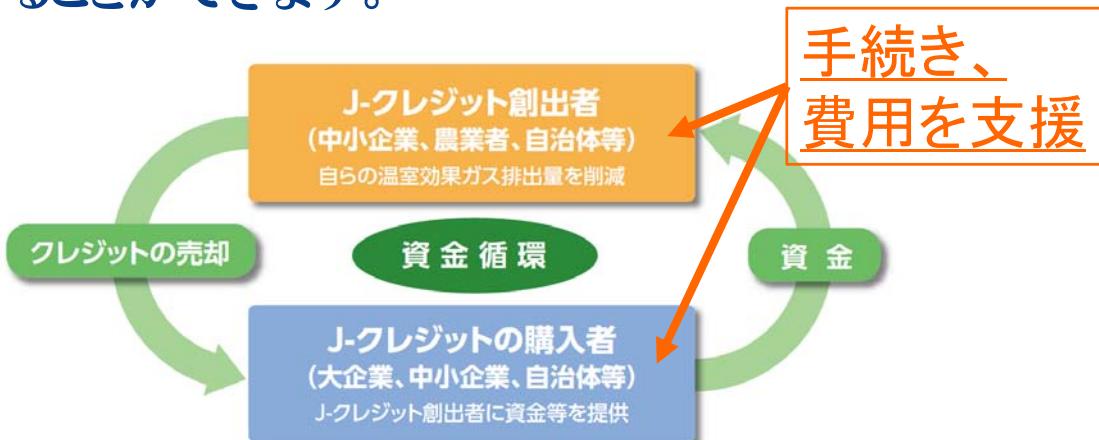


沖縄県内の事例紹介 と支援内容

一般財団法人沖縄県環境科学センター

支援制度について

J-クレジット制度への参加を促すため、クレジットの創出、クレジットの活用（カーボン・オフセット）について、支援を受けることができます。



支援内容の概要

* クレジット創出(プロジェクト実施)の支援

* クレジット活用(カーボン・オフセット)の支援

2

J-クレジット制度の対象となる事業

- 日本国内で実施されること。
- プロジェクト登録申請日の2年前の日以降に実施されたものであること。
- 設備投資回収年数が概ね3年以上であること。
- 方法論に基づいて実施されること。(事例集参照)
- 審査機関による妥当性確認を受けていること。

3

クレジット創出(プロジェクト実施)への支援

① 書類作成支援

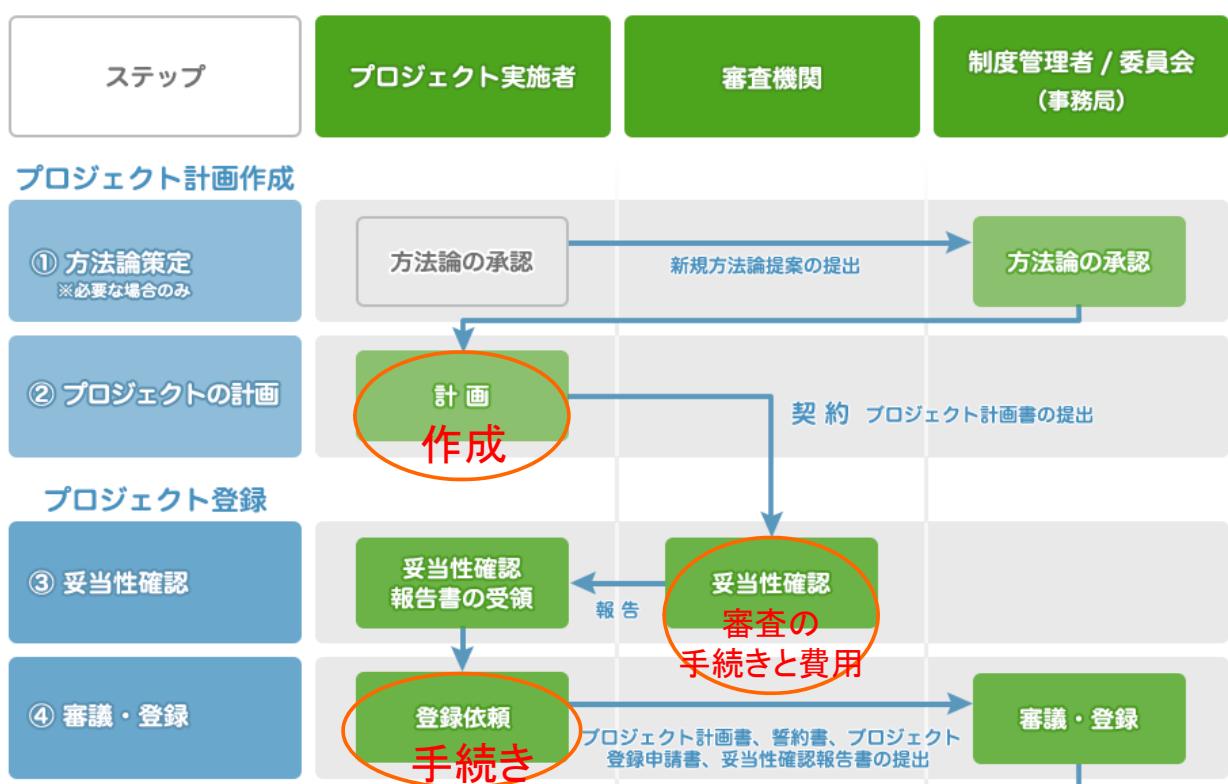
- * プロジェクト計画の支援
- * モニタリング報告の支援

② 審査費用支援

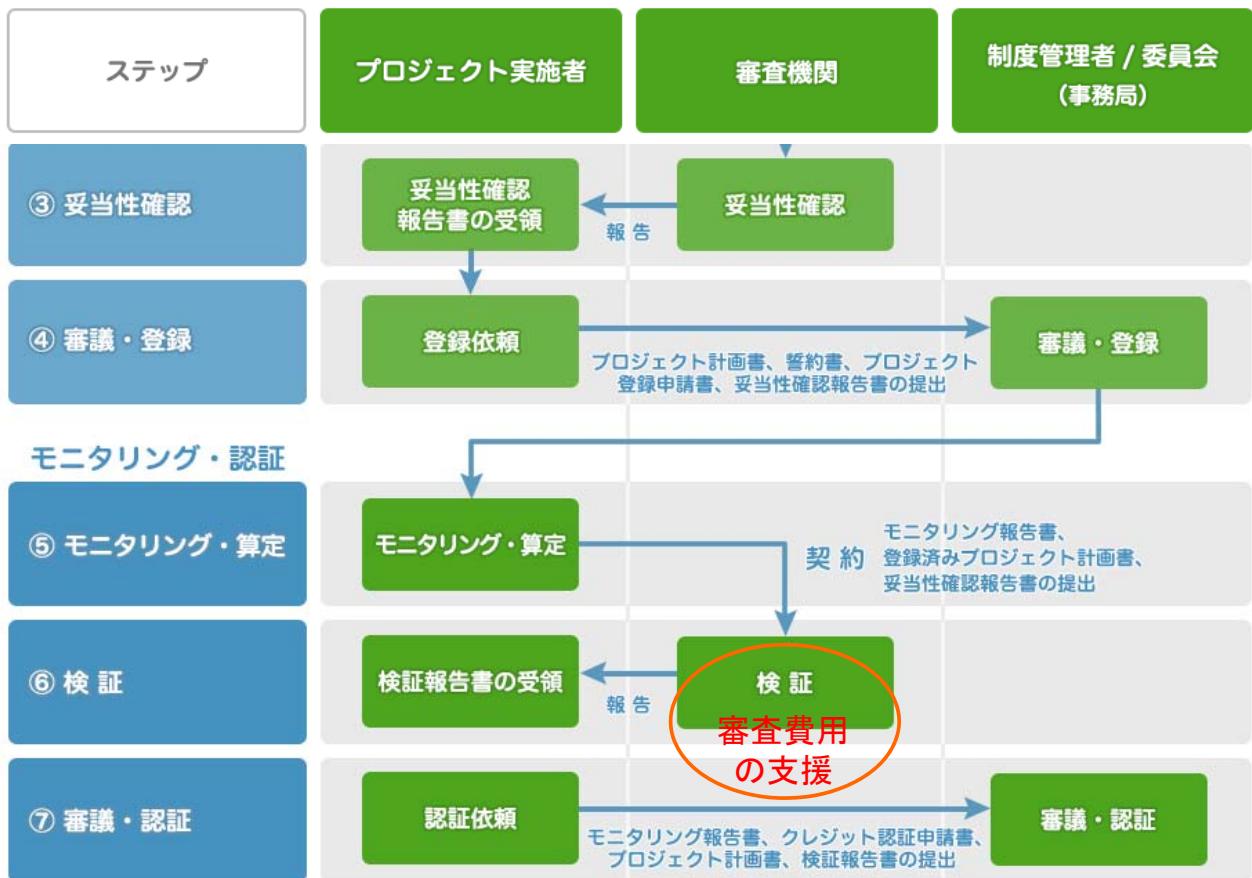
4

プロジェクトの計画からクレジット発行までの流れ

※支援



5



6

① 書類作成支援

＜支援の対象＞

- * 中小企業基本法の対象事業者
- * 自治体
- * 公益法人(一般/公益社団法人、一般/公益財団法人、医療法人、福祉法人、学校法人等)

7

① 書類作成支援

＜プロジェクト計画書の作成支援＞

- * 1事業者当たり1方法論につき1回限り
- * 年間のCO₂排出削減量が100t以上
(電力削減の場合、約18万kWh相当)

8

② 審査費用支援

＜支援の対象＞

- * 中小企業基本法の対象事業者
- * 自治体
- * 公益法人(一般/公益社団法人、一般/公益財団法人、医療法人、福祉法人、学校法人等)

9

② 審査費用支援

＜妥当性確認の費用支援（プロジェクト計画書）＞

- * 1事業者当たり**同一年度内に2回**まで。ただし、同じ方法論で2回受けることはできない。
- * CO₂削減見込量が**年間100t以上**の事業であること。

10

② 審査費用支援

＜検証の費用支援（モニタリング報告書）＞

- * 1事業当たり**2年度内に1回**まで（ただし、プログラム型は、1事業当たり同一年度内に1回まで）
- * 認証申請当たりのCO₂排出削減量が100t以上（電力削減の場合、約18万kWh相当）

11

支援内容の概要

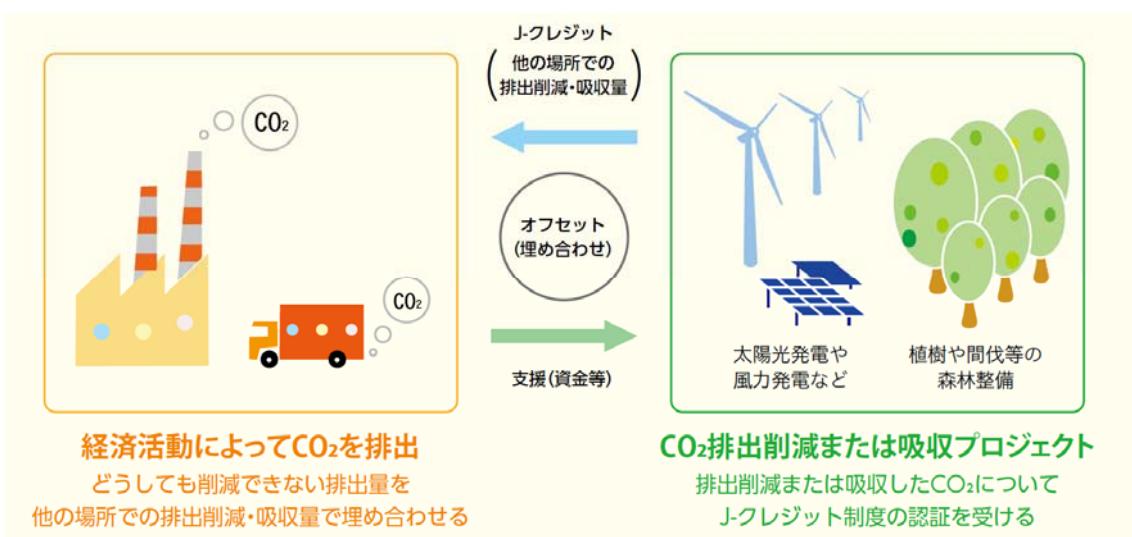
* クレジット創出(プロジェクト実施)への支援

* クレジット活用(カーボン・オフセット)への支援

12

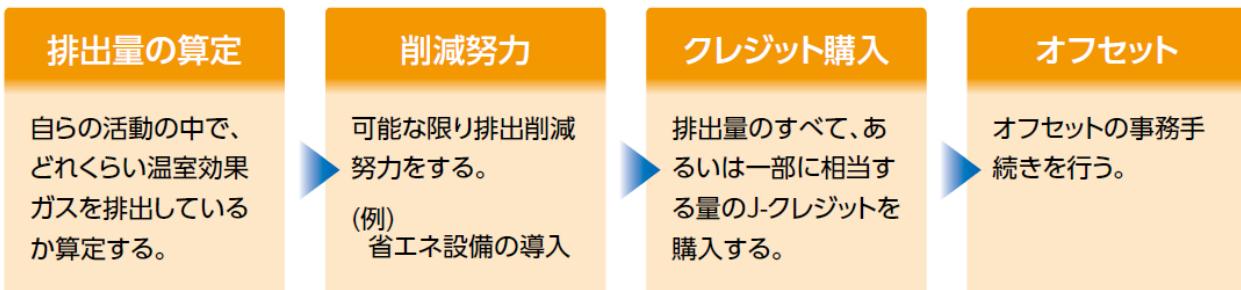
カーボン・オフセットとは

排出量に見合った削減活動に投資することで、排出される温室効果ガスを
"埋め合わせる(オフセット)"という考え方



13

J-クレジットを用いた カーボン・オフセットの流れ



CO₂の埋め合わせに、「J-クレジット」等を使用します。
J-クレジット等は、1t-CO₂といった単位で取引されます。

14

カーボン・オフセットの例

- ・イベント(展示会、祭り、スポーツ大会など)
- ・企業のCSR(工場の稼働、会社パンフ、営業活動など)
- ・商品・サービス(製品の製造・販売、建設工事など)

15

カーボン・オフセットの支援内容

* 排出量の算定

(車・電気等から排出されるCO₂量、ごみ焼却によるCO₂量など)

* クレジットの調達

(県産・県外産、削減系・吸収系など)

* オフセットの手続きの実施

(クレジットの無効化など)

* プレスリリース

(新聞への掲載依頼など)

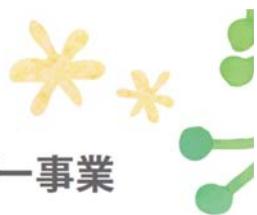
16

沖縄県内のJ-クレジット創出事例

J-クレジット登録事業者一覧

プロジェクト実施者	プロジェクト概要	CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂ /年)
沖縄県企業局	浄水場におけるポンプ・ファン類の更新	815
株式会社青い海	製塩工場におけるボイラーの更新(重油→LPG)	322
有限会社登川商事(ドラゴンボウル)	ボウリング場における照明設備の更新(LED化)	112
国立大学法人琉球大学	大学における太陽光発電設備の導入、変圧器の更新	83
株式会社南都(おきなわワールド)	観光施設における照明設備の更新(LED化)、太陽光発電設備の導入	101
有限会社東南植物楽園	観光施設における照明設備の更新(LED化)	53
具志川ゴルフクラブ株式会社	ゴルフ場における照明設備の更新(LED化)	106
タビック沖縄株式会社(ペアーレ沖縄・タビック)	運動施設における照明設備の更新(LED化)	26
合資会社北谷スポーツセンター(スポーツワールドサザンヒル)	運動施設における照明設備の更新(LED化)	99
タビック沖縄株式会社(ユインチホテル南城)	宿泊施設におけるコーチェネレーションの導入(A重油→天然ガス)	160
沖縄綿久寝具株式会社	クリーニング工場におけるボイラーの更新(A重油→LNG)	1,790
株式会社琉球ホテルリゾート那覇 (ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	ホテルにおけるボイラーの更新(A重油→都市ガス)	256
株式会社みつわ産業	小売店舗における照明設備の更新(LED化)	93
社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	病院における照明設備の更新(LED化)	137
トーラス株式会社	住宅における太陽光発電設備の導入	148
株式会社鏡平名エコストーション	住宅における太陽光発電設備の導入	44

17



事例1 卸売業における照明設備の更新による省エネルギー事業

株式会社 みつわ産業

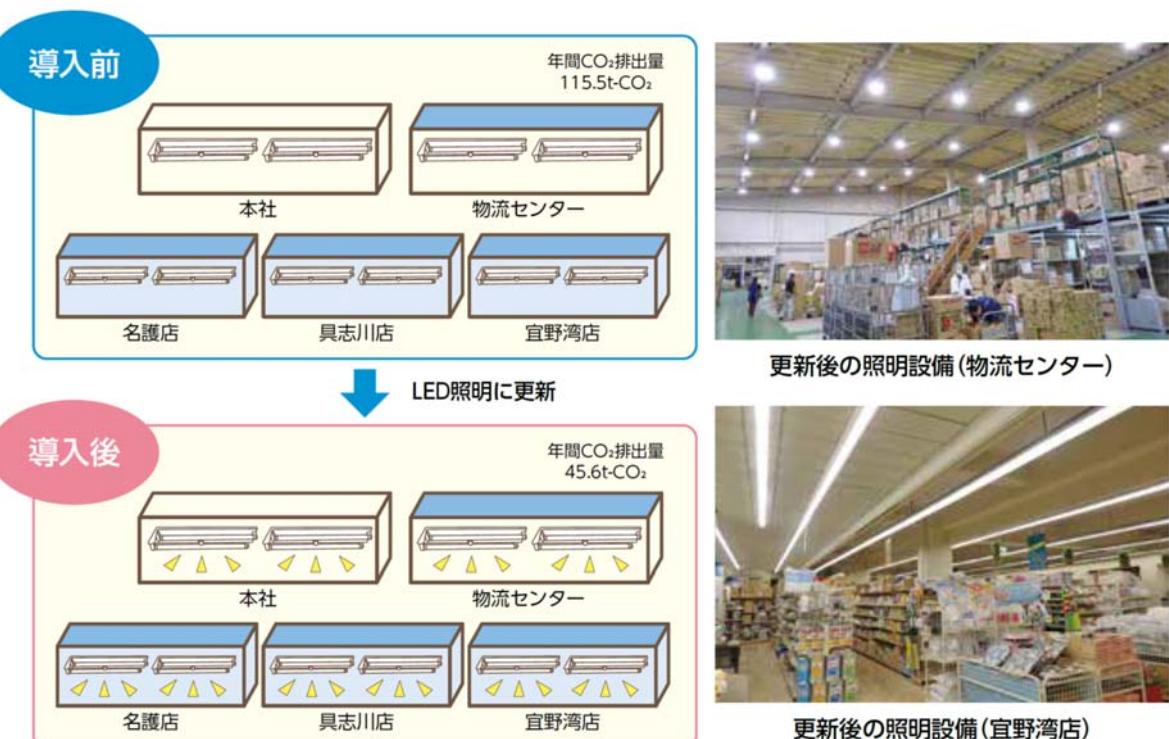
1. 企業の概要

株式会社みつわ産業は、1972年に那覇市泊で創業し、那覇市字識名に本社を移転、現在に至っています。当社は、明日の“食”事業を見つめ、「必要な商品を、必要なだけ、早くお届けする」という営業姿勢のもと、食品容器・包装資材・厨房器具などの業務資材および業務食材の販売を行っています。そして県内各地のお客様からのご要望にお応えするため、本島全域から離島(石垣・宮古)エリアに県内9店舗を展開し、5カ所の配送センターから各営業担当によるルート営業を積極的に活用しています。

これからも、人と環境との理想を目指し、躍動感あふれる先進的な企業であり続けます。



18



19

4. 取り組みの感想・効果

省エネ設備(LED)によるランニングコストの低減

J-クレジットの創出を担当されたメンテナンス課の長堂さんは、取り組みの感想を次のように話しています。

従来の照明設備である蛍光ランプから省エネタイプのLEDに変更して、電気料金の大幅な削減に繋がりました。また、お客様からも店舗が明るくなり、商品も見えやすく気持ちがいいとのお声が多数寄せられています。さらに、消費電力を低減した結果、3年間で233 t-CO₂のクレジットを創出することに成功しました。

こうして創出したクレジットは、県内のイベントなどでカーボン・オフセットに利用されています。この先も弊社は微力ながら「脱炭素社会」を目指し、引き続き地域社会に貢献してまいります。



物流センター 工場

クレジット創出量

233
t-CO₂

2017年3月～2020年6月

20



事例2 病院における照明設備の更新

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院



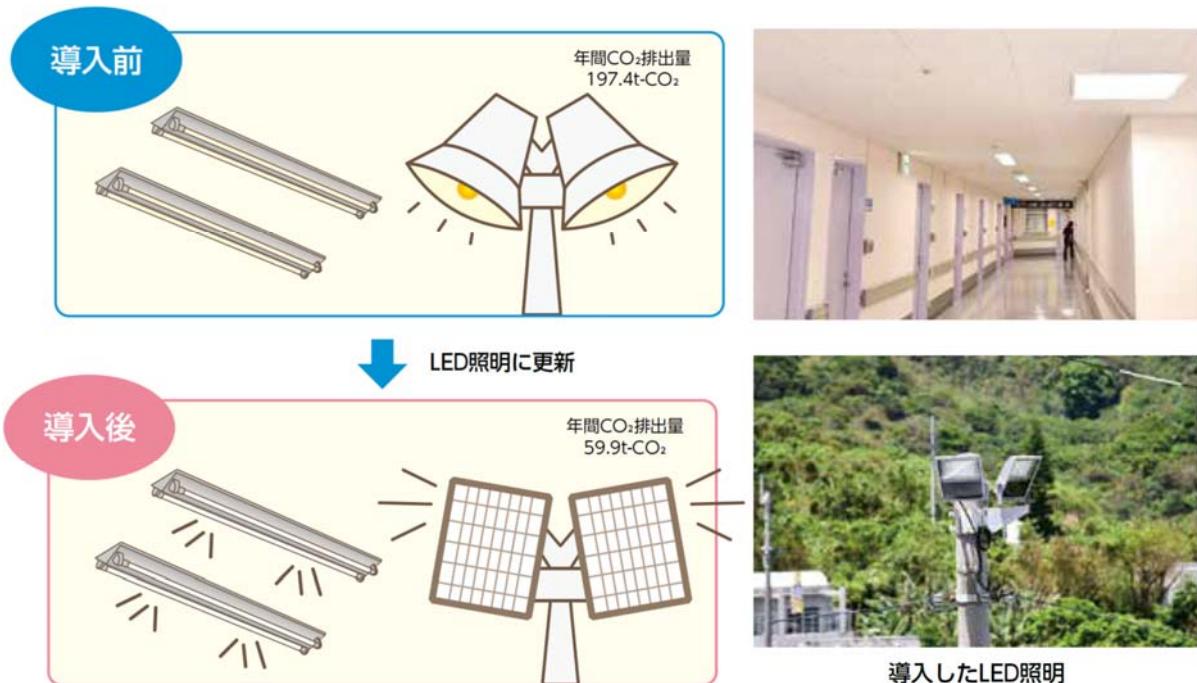
1. 法人の概要

ハートライフ病院は、1988年の開院以来、「私たちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします」を理念に掲げ、地域医療支援病院として365日24時間体制の救急医療と幅広い分野の専門医療を実践してまいりました。これからも患者さんやご家族が納得し、満足していただける医療を提供するため、さらなる質の向上に努めます。

また、当院は環境にやさしい病院づくりを目指しており、全館照明LED化は省エネルギー化と環境配慮を目指したプロジェクトです。気候変動への取り組みは、今や多くの法人でも求められるものとなりました。私たちはそうした社会の変化に対応し、地域に根差した病院であり続けます。



21



22

4. 取り組みの感想・効果

療養環境改善と省エネ対策の全館LED化の効果

J-クレジット制度への参加を担当された法人事務局の宮里さんは、取り組みの感想を次のように話しています。

当院は以前から省エネ対策でランニングコスト削減を検討していました。療養環境改善のため全居室の空調機を高効率型へ更新し、新館も同様の空調機を設置、照明も全てLEDを設置しています。

本館と西館については、中長期の更新計画のもと昨年から今年にかけて全館LED化を実施しました。

その結果、以前の蛍光灯よりも照度がアップして院内全体が明るくなり、電気料金の削減にも貢献出来ました。

今後は、全館空調機を高効率型へ更新する計画に向けて、更なる省エネ対策と併せてCO₂削減に努めていきたいと思います。



2018年に改築された予防医学センター(人間ドック)

クレジット創出計画

137
t-CO₂/年

2021年4月～2029年3月

23

沖縄県内のカーボン・オフセット事例

- イベント 3件 8トン
- 印刷物 5件 7トン
- 工事 21件 215トン
- その他 3件 4トン

合計 32件のカーボン・オフセット(234トン)

24

イベントのカーボン・オフセット

参加者の移動 (自家用車)

100台が5km以内の地域から往復



0.2 t-CO₂

燃費: 10km/L(ガソリン)
排出係数: 2.32kg-CO₂/L

参加者の移動 (飛行機)

100人が那覇-宮古を往復



7.2 t-CO₂

那覇-宮古の飛行機利用
片道36.2kg-CO₂/人

参加者の移動 (シャトルバス)

10台が片道5kmを30往復



1.5 t-CO₂

燃費: 5km/L(軽油)
排出係数: 2.58kg-CO₂/L

会場の発電機使用

500Lのガソリンを使用



1.2 t-CO₂

排出係数: 2.32kg-CO₂/L(ガソリン)

廃棄物の処理

1,000kgのごみを処理



0.3 t-CO₂

排出係数: 0.29kg-CO₂/kg(一般廃棄物)

イベント期間中の 参加者の生活

1,000人が2日間滞在

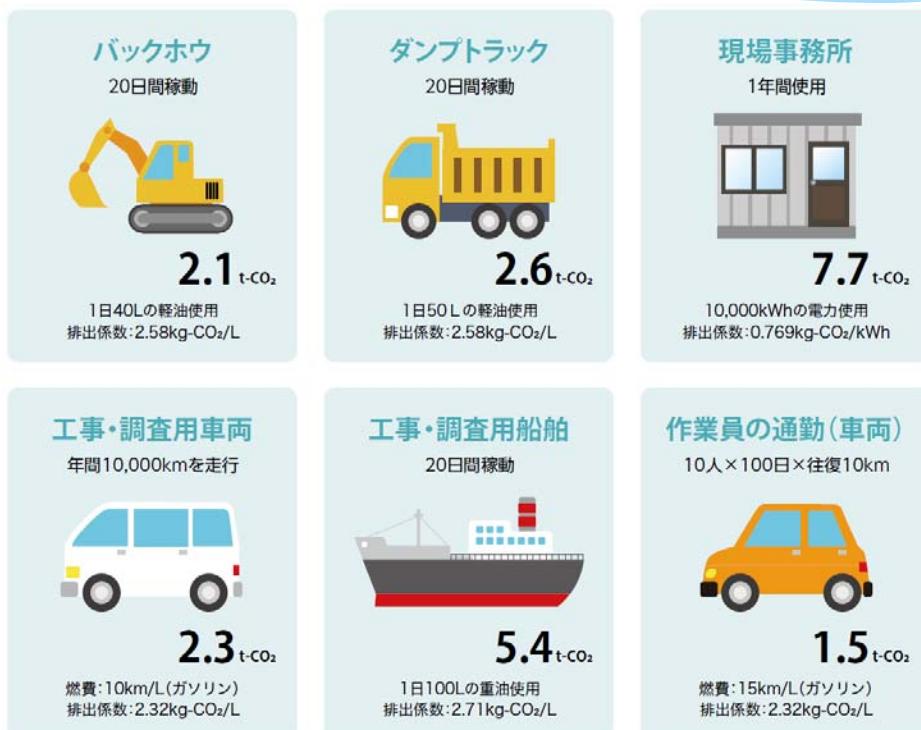


12 t-CO₂

1日あたりの排出量6kg-CO₂/人

25

工事のカーボン・オフセット



26

● イベント



27

● 印刷物

**森林・林務行政教材
「おきなわの森林のコト林業のコト」**
沖縄県 農林水産部 森林管理課



森林・林務行政教材「おきなわの森林のコト林業のコト」の原材料調達・印刷・流通に伴って排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット



1 t-CO₂

**沖縄大交易会2020
公式ガイドブック**
沖縄大交易会実行委員会



「沖縄大交易会2020公式ガイドブック」の原材料調達・印刷・流通・廃棄に伴って排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

沖縄大交易会公式ガイドブックは、2016年～2020年度まで継続的にカーボン・オフセットに取り組んでいます。

【利用したクレジット】
J-クレジット



1 t-CO₂

28

● 工事

**平成30年度
与那原地区補強土壁工事**
南洋土建株式会社



沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「平成30年度与那原地区補強土壁工事」において、バックホウの稼働に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット(沖縄県企業局)



26 t-CO₂

**陸自那霸(30)
保管庫等新設電気その他工事**
株式会社那霸電工



沖縄防衛局発注の「陸自那霸(30)保管庫等新設電気その他工事」において、発電機等の機器の使用、現場作業車及び作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット(沖縄県企業局)



20 t-CO₂

29



沖縄県 CO2 吸収量認証制度



制度の概要

樹木は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）を吸収して成長します。沖縄県 CO₂ 吸収量認証制度は、県民・企業・市町村などの緑化活動によって育まれる森林や植栽地の CO₂ 吸収量を沖縄県が認証する制度です。

認証された CO₂ 吸収量は地球温暖化対策に貢献する証となるほか、カーボン・オフセットに活用することもできます。



30



参加資格と対象となる活動

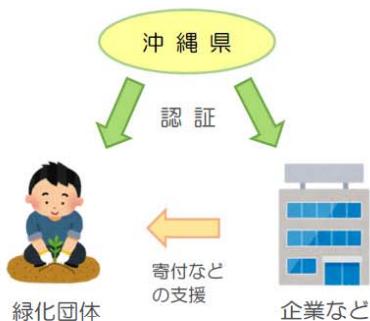
参加資格

緑化活動を行う団体・緑化活動を支援する団体^{*}

^{*}本制度では、緑化活動を行う団体に加え、緑化団体を寄付等により支援する団体も認証対象とします

対象となる活動

- ① 樹木の植栽
- ② 樹木の保育（下刈、除伐、間伐など）



制度参加のメリット

- ① CO₂ 吸収量認証書を環境貢献、社会貢献の証として広報活動に用いることができます
- ② 認証された CO₂ 吸収量を県内の経済活動やイベントなどで排出する CO₂ のカーボン・オフセットに活用することができます



カーボン・オフセット商品のイメージ



31



認証の要件

- ① 沖縄県内で実施された緑化活動である。
- ② 緑化活動の対象となる樹木（高木及び中木）の数が100本以上である。
- ③ 侵略的な外来種を植栽しない等の生物多様性の保全に配慮している。
- ④ 実施された緑化活動が適切で樹木が健全に育成することが期待できる。
- ⑤ 樹木が吸収したCO₂を放出しないための継続的な樹木の管理や木材の活用が期待できる。
- ⑥ 土地所有者等と申請者が同一である。または、土地所有者等の合意を得て申請書を提出している。

※ 高木：樹高が概ね10m以上に成長する樹木

中木：樹高が概ね 3m以上に成長する樹木